

完了報告書

報告日付: 2022年 4月12日

事業 ID : 2021000717

事業名: 東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」(B)コミュニティモデルの運営(1年目)

団体名: 一般社団法人ローランズプラス

事業完了日: 2022年 3月31日

1. 事業内容: 東京都渋谷区における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

(1) 期間: 2021年9月1日～2022年3月31日(週5日、14時から19時まで開所)

(2) 場所: 東京都渋谷区

(3) 対象: 家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に20名

(4) 内容: 「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。英語や漢字指導に加え、フラワーアレンジや植物の管理等の仕事体験を提供する。

2. 事業内容詳細:

「バランスの取れた食事とおしゃべりの提供」を主軸として事業を実施した。夕食の準備においては、盛り付けだけでなく、麺類を茹でる、フライパンでの炒め調理に挑戦するなどの調理体験も実施。スタッフや友達と一緒に作った夕食と一緒に食べるということを通じて、子ども一人一人との信頼関係を構築した。

学校の宿題を見るといった学習指導に加えて、お菓子作りや、フラワーアレンジメント、縫製によるクリスマスペストリー作りといった、家庭では実施が難しい体験活動を重ねた。

3. 契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

1. 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営開始(2022年3月31日までに利用児童数を20名にする)
2. 運営開始前に関係各所(渋谷区・近隣学校・こども支援団体など)へ事業説明を実施
3. 児童への居場所、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給
4. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
5. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベント実施(24回)
6. プロジェクト特設サイトを開設し、事業準備から開設までのストーリー動画をYouTubeに公開

【目標の達成状況】

1の達成状況: 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営を開始した(2022年3月時点での利用児童数は10名)。

2の達成状況: 運営開始前に関係各所(渋谷区・近隣学校・こども支援団体など)への事業説明を実施した。渋谷区とは定期的にミーティングを実施するなどの良好な関係を築くことができた。

3の達成状況: 児童への居場所、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給を行った。学校にはなかなか通えなくても居場所には来れるといった利用児童も存在した。フライパンでの調理や盛り付け、下ごしらえなども子どもたちに体験させた結果、苦手な食材を食べられるようになったり、家や学校では食が進まないが居場所ではたくさん食べられるといった変化が表れた。

4の達成状況：地域住民をボランティアとして受け入れた。行政や学校と定期的な意見交換ができる関係を構築した（渋谷区とは定例ミーティングを実施）。地域の団体ともコンタクトを取り、来年度は地域のお祭りや行事にも参加できるよう働きかけを行っている。

5の達成状況：子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを週1～2回開催した（計28回）。お花屋さんでの職業体験として、フラワーアレンジメントや縫製作業を伴うタペストリー作り、近隣運動ジムの協力による体を使った運動遊びなどを実施した。

6の達成状況：ローランズのサイトにおいて子どもたちの居場所での様子を紹介している（https://lorans.jp/child_restaurant.html）。事業準備から開設までのストーリー動画は顔出しOKのスタッフが少なく動画素材が少なかったため、動画作成を行えなかった。